

フェア プレイ



高校野球のマナーとルールを学ぼう (第92回)



一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

グラウンドでの試合を振り返り、高校野球の大切なマナーとルールを学びましょう。
あなたの「なぜ? どうして?」にわかりやすくお答えします。

ルール編 「安全進塁権とリタッチの義務」

第100回選手権西兵庫大会でのことです。6回裏無死1塁、OB-2Sの次の投球で1塁走者がスタート。打者が放った打球は左中間へフライ飛球。打球をダイレクトで捕球した左翼手は、1塁へ帰塁しようとした走者をアウトにするため、1塁手へ送球しました。

ところが、悪送球となってカメラマン席（ボールデッドの箇所）に入りました。1塁の審判員は、すかさずタイムをかけ1塁走者に対し、3塁への進塁を与えました。

このプレイについて、ルールの側面から勉強してみたいと思います。

ルールブック（公認野球規則）では、5.06(b)(4)(G)①において、送球がスタンドまたはベンチに入った場合は、**走者に2個の塁が与えられる**と規定されています。なお、打球処理後の**内野手の最初のプレイ**に基づく悪送球であった場合は、投手の**投球当時の各走者の位置**を基準としています。

例えば、サードゴロを捕球した三塁手の1塁への送球がスタンドに入った場合、投球当時の打者走者の位置（本塁）から2個の塁が与えられることになり、打者走者には2塁への安全進塁権を与えられます。

その他の場合は、**悪送球がなされたときの各走者の位置**を基準としています。

更に、【原注】において、“悪送球がなされたとき、”という術語は、**その送球が実際に野手の手を離れたときのことを指す**とされています。

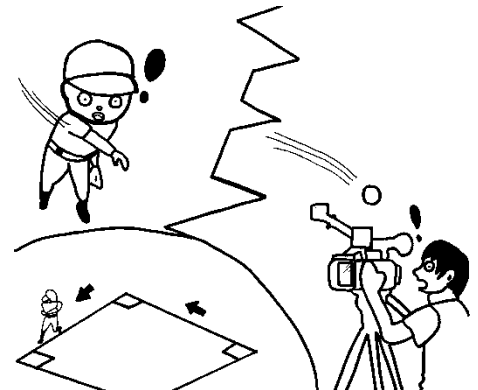
したがって、このケースでは、左翼手が1塁への送球がなされたとき、つまり、左翼手の手を離れたときに走者の占有していた塁が1塁となりますので、この塁を基準に2個の塁となる3塁への安全進塁権が与えられた訳です。飛球が捕らえられたとき、走者が帰塁しなければならない塁とは、投手の投球当時、走者が占有していた1塁を指します。(5.09(b)(5)【注】)したがって、このケースにおいて、1塁走者が仮に2塁へ到達していたとしても占有している塁は、1塁であることを理解しておく必要があります。

《ここで1つ、気を付けることがあります!》

次塁へのスタートを切っていた1塁走者は、安全進塁権を与えられたとき、1塁ベースのリタッチ（帰塁）をしていたのでしょうか。規則5.06(b)(4)【原注2】では、「**余分の塁を与えられたときでも投手の投球当時の占有塁のリタッチを果たさなければならない**。⇒この際、ボールデッド中にリタッチを果たしてもよい」とされています。

悪送球によりボールデッドとなったことで1塁走者には安全進塁権が与えられた訳ですが、走者には1塁ベースへのリタッチ（帰塁）を果たす義務があります。もし、リタッチを果たさず、3塁へ進んでいた場合、ボールデッドが解消された後、野手が走者の身体あるいは、その塁に触塁しアピールされれば、アウトが宣告されることになります。

この試合では、1塁走者がフライ飛球を捕球された後、正しく1塁ベースへのリタッチ（帰塁）を果たしており、このプレイを判定した審判員もリタッチの触塁を確認していました。このように安全進塁権を得た場合、攻撃側、守備側を問わず、走者はどのような基準でどこまで進塁できるか、また、選手が果たすべきルールは何かを知っておく必要があるでしょう。



マナー編 「野球（試合）の目的、教育としての高校野球」

秋季県大会が幕を閉じたことで、本年度の県内における公式戦の日程は終了しました。すでに、各チームでは、来季を見据え、1、2年生を主体に練習を行っているところです。
そこで、この機会に野球の基本に立ち戻り、公認野球規則に定められた基本的な内容を中心に考えてみたいと思います。

今回は、「野球（試合）の目的、教育としての高校野球」について紹介します。
「試合の目的」は、公認野球規則のトップページ 1.01～1.06 に規定されており、野球の最も基本的な事項であるとともに、とても重要な内容となっています。

- ・ 1.01 「野球は、囲いのある競技場で、監督が指揮する9人のプレーヤーから成る二つのチームの間で、1人ないし数人の審判員の権限のもとに、本規則に従って行われる競技である。」
- ・ 1.05 「各チームは、相手チームより多くの得点を記録して、勝つことを目的とする。」

このように、野球は、公認野球規則によって決められたルールとそれを判定する審判員の権限のもとで、勝つことを目的とする競技であることが分かります。

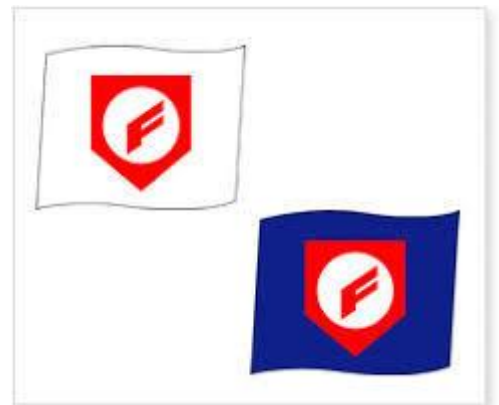
この公認野球規則は、1845年に20項目の規定で誕生しましたが、過去の様々なプレイや事象の検証を通じて、毎年、改正を積み重ね、現在では204項目にのぼる数多くのルールが定められています。

また、野球ルールの根底には、「**フェアプレイの精神**」に基づいた考え方が所々に存在しています。

インフィールドフライや故意落球などは、意図的に相手を欺いてアウトを奪おうとするプレイを阻止するための代表的なルールといえるでしょう。

更に、学生野球における高校野球は、「**教育の一環**」としての役割があり、**野球を通じて将来、日本の社会に役立つ立派な人間を育て上げることを大きな目的**としています。高校野球は、16～18歳の高校生の野球であり、技術も未熟であれば、精神的にも人間形成の途中です。

日頃の練習や公式試合を含め、高校野球を通じて人間形成を培っているということを理解しておく必要があります。常に謙虚な態度で、相手チームに対してリスペクト（尊敬）するとともに、フェアプレイの精神を持ってプレイすることが大切です。



イラスト協力: 兵庫県立姫路工業高等学校デザイン科
ルール編 松下 大地 さん (2年)